

大都市都心でAIオンデマンド交通はなぜ継続できなかったか？

～公共交通の今後を考えるシンポジウム～

名古屋市千種区の南西部、千石・千種学区周辺で実証運行が行われていたAIオンデマンド運行バス「mobi（モビ）」が、2025年12月31日をもって運行終了となりました。

鉄道やバスでカバーできないところまでタクシーより低料金で行けることで多くの利用がありました。運賃だけでは経費を賄えず継続ができませんでした。

今回の結果を踏まえ、大都市の中を細かくカバーする公共交通機関の可能性についておおいに議論します。



日時 2026年1月25日(日)
13:30～16:00

会場 名古屋大学 鶴舞キャンパス
基礎研究棟（講義棟）4階
第4講義室

出演者（話題提供者・パネリスト）

- 加藤博和（名古屋大学）
- Community Mobility株式会社担当者
- 千石学区住民代表
- 外部有識者
板谷和也 教授（流通経済大学）
神田佑亮 教授（呉工業高等専門学校）

参加無料
申込は右上の二次元バーコードから

申込はこちら！

Googleフォーム



【会場アクセス】

基礎研究棟



- JR中央本線「鶴舞駅」下車徒歩7分
- 地下鉄（鶴舞線）「鶴舞駅」下車徒歩13分
- 市バス「栄」から栄⑱系統「妙見町」行きで「名大病院」下車

主催：名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

※本イベントは、令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」の助成を受け開催いたします。

お問い合わせ先：名古屋大学大学院環境学研究科 地域戦略研究室
E-mail: kato_lab@urban.env.nagoya-u.ac.jp ※メールでお問い合わせください